

地域循環システム「ちばのWA！」だより

ちばのWA！基金 「東日本大震災被災地支援金助成」中間報告

皆さまからいただいた寄付金 318,620 円を 2 月末に 2 団体に助成しました。



【大網と被災地の絆(きずな)プロジェクト】

実施団体：大網駅を安全で美しくする会

昨年の 3/19 から今年 2/7 までの間、のべ 1346 名が石巻市や、南三陸町を中心に 81 回訪問しました。12/17 には陸前高田市の漁師 10 名を大網白里町へご招待し、つかの間の休息を楽しんでいただきました。



その他、自宅で飾らなくなった雛人形の提供を呼びかけ、石巻市立大川小学校に 3/11 には 1000 名の仲間を集めて、シンポジウム「これまでの 1 年、これからの 1 年」を開催。

今後も毎週被災地で支援活動を続けていきます。

【宮城の子どもたちに音楽を通して心のケアを～出前音楽療法プロジェクト】

実施団体：NPO 法人フォレストサウンド

現地の NPO と連携して、専門性を活かした支援活動を行っています。訪れた石巻開成仮設住宅には 1000 世帯が入居しています。ピアノ、楽器すべて津波に流され、借りることもできませんでした。助成金で楽器を購入し、現地で音楽療法支援を行い、その楽器を贈呈してくる活動を行っています。

今後も被災地に「元気と愛と音楽を」を合言葉に、少しでも笑顔がこぼれる心地よい場の提供を行っていく予定です。



一般財団法人ちばのWA！地域づくり基金設立します 1,661,000円

NPO クラブでは、これまで 11 年間にわたり市民活動を支える「一歩くん募金」助成を行ってきた実績（67 団体に総額 1,714 万円を助成）を活かして、より多くの市民や企業の参画により市民活動、地域活動を支援する「ちばの WA！地域づくり基金」を設立することと致しました。

地域社会を支え、新たなコミュニティを創造していくため、柔軟性とスピード感をあわせもった民間による新たな基金です。公益性のある事業や公共サービスの創出・提供は、行政が単独で行うのではなく、多様な主体の相互連携・協力によって行われることで解決に向けてより豊かな成果が期待できます。市民による地域づくりを市民が支える仕組みをつくり根付かせ、自立した市民社会を実現することを目指し、財団法人「ちばのWA！地域づくり基金」を設立します。

13 団体 139 名からご寄付いただいています
(3 月 22 日現在)

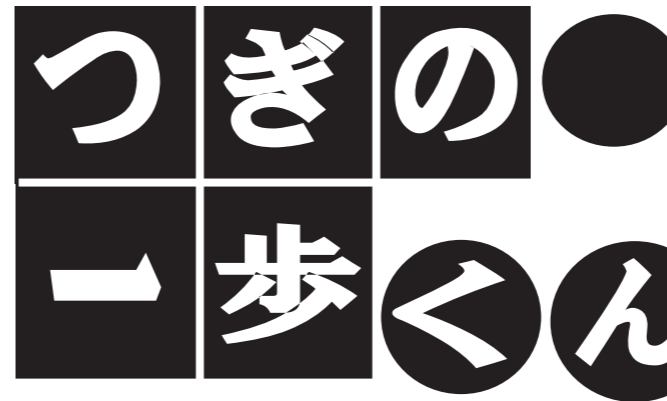
地域社会を支える市民立の財団を私たちと一緒に作りませんか。
財団法人設立に必要な基本財産 300 万円を 100 人以上からご寄付いただき、市民の皆さまに支えられた財団とします。ご賛同いただける方からの寄付を受け付けています。

寄付金お振り込み先
一口・1,000 円(10 口以上お願いいたします)
■振込先
郵便振替口座 00170-4-766348
ちばのWA！地域づくり基金設立準備会
(チバノワチキヅクリキケンセツリツジュンビカイ)

編集後記

1 月より NPO クラブに新しく加わった、黒一点となるスタッフの長澤です。電話口で男の声がしても間違えてはいませんので、今後ともよろしく願っています。
(長)

News Letter



NPO クラブは認定 NPO 法人を目指します
ちばのWA！は公益財団法人を目指します



Vo | 43 2012.03

特定非営利活動法人 ちば市民活動・市民事業サポートクラブ(NPOクラブ)



新寄付税制と改正 NPO 法で認定取得の可能性が急上昇！

新パブリック・サポート・テストを活用して、
認定 NPO 法人への共感を高めよう！

昨年 6 月 30 日施行の新寄付税制と今年 4 月 1 日施行の改正 NPO 法は、日本の NPO 法人にとって大きな転機となりました。NPO クラブでは、この 2 大改革成立に尽力してきたシーズ・市民活動を支える制度をつくる会から、プログラム・ディレクターの関口宏聡さんを講師に迎えて「よくわかる『新寄付税制』セミナー」を開催しました。(共催:ちば NPO 協会・中央労働金庫)

新寄付税制	所得税の税額控除制度導入 (所得控除と選択制)	(寄付金額-2 千円) × 40%を 所得税額から控除
	地方税の下限額引き下げ (5 千円→2 千円)	(寄付金額-2 千円) × 4or6or10%を 住民税額から控除
改正 NPO 法	認定 NPO 法人の要件緩和 (絶対値基準も選択可)	新 PST(パブリック・サポート・テスト) 「年 3 千円の寄付者 × 100 人」
	「仮認定制度」導入	PST 不要で 3 年間有効(1 回限り)
	認定機関の移管	国税庁→都道府県・政令市
	みなし寄付金の損金算入限度 額引き上げ(20%→50%or200 万)	収益事業の利益の一部を特非事業に 回せる額が増加
	NPO 法人の活動分野追加	3 分野増えて 20 分野に
内閣府認証事務の移管	内閣府→都道府県	
NPO 法人会計基準の採用	「収支計算書」→「活動計算書」等	

【例】所得金額 150 万円の人が
千葉県千葉市の認定 NPO 法人に
1 万円を寄付したら？

①所得税：寄付金控除額が現行
400 円から 3,200 円に！
②住民税：控除額合計が現行 500
円から 800 円に！

↓
控除額合計 4,000 円

見返りのない「賛助会費・サポーター会費」なども寄付扱い OK！
事業年度の平均値で寄付者が
100 人いれば OK！

寄付集めにこれからチャレンジ
しても大丈夫！
仮認定期間に大勢の寄付を集めて
本認定を目指そう！

この 2 大改革によってどんなことが起こるのでしょうか。

寄付者・納税者は税額控除で寄付金額・寄付先を増やすことができ、自分の税金の使い道を自分で決められるようになります。

NPO 法人は「3 千円 × 100 人」の寄付促進活動で認定を取得できる一方、寄付金の使途や団体情報を明確に公開することが求められます。

新寄付税制を活用し認定を取得して、寄付先としての NPO の存在感を高め、「地域が潤う」資金循環を創っていきましょう。



編集・発行

特定非営利活動法人

ちば市民活動・市民事業サポートクラブ(NPOクラブ)

■Tel: 043-303-1688 Fax: 043-303-1689

■〒261-0011 千葉県千葉市美浜区真砂 5-21-12

■e-mail npo-club@par.odn.ne.jp

■URL www2.odn.ne.jp/npo-club

■団体会員 52 団体・個人会員 97 人

千葉で地域づくりのための新しい寄付文化をつくろう！ ファンドレイジングinちば 開催報告

県民活動促進事業「寄付促進キャンペーン事業」

2月25日、千葉市ビジネス支援センターにて「ファンドレイジング in ちば」を開催しました。

寄付文化を創っていくためには、地域課題の解決に取り組む団体を可視化し、社会からの支援が受けられるようにすることが必要です。ファンドレイジングについての成功事例から、おおぜいの思いを「寄付」というカタチに変える意義と手法を学び合う場となりました。

全体講演



「地域づくりのための新しい寄付文化をつくろう！」

梶尾雅隆さん

(NPO 法人 日本ファンドレイジング協会 常務理事・事務局長)

東日本大震災を契機に誰もが「自分に何ができるか」と考えました。「ボランティア」そして「寄付」という言葉と行為が日本社会に定着したと思います。政治や行政にお願いするだけではもう無理な時代、「民から民へ」のお金の流れをつくる時代になったのです。

NPOはまだ社会的マイノリティ（少数派）ですが、半歩前へ行く人たちでもあります。課題解決のために「実現したい夢」を最大の経営資源として持っている人たちです。その夢に共感してくれる人を増やすことができれば、結果としてお金という支援がついてくる。

これがファンドレイジングです。

NPOの強みは「枠を超える力」を持っていること。日本型ファンドレイジングの3点セット（①縁 ②仁義 ③人の顔）を活かして既成の枠を超え、資金循環の新たなしくみを創っていきましょう。



【ファンドレイジングに必要な3つのポイント】

①財源戦略を持つ

資金調達コストと用途の自由度のバランスを考え、団体に合った財源の確保を目指す

②ダイレクトマーケティング力を強化する

管理業務に必要な情報に、支援者をより深く知るための情報を加えたデータベースを構築し、徹底活用

③得意型をつくる

- ・チャレンジに対する寄付を集める
- ・広告協賛に最適なタイミングで依頼する
- ・「〇〇円でできるメニュー」を具体的に提示する
- ・最も支援が必要な部分に集中する
- ・売り上げの一部を寄付してもらう など

分科会1 被災地支援を寄付で支える

- 復興にとどまらない、次の暮らしを創造するコミュニティ財団の試み
一般財団法人地域創造基金みやぎ 常務理事兼チーフ・プログラムオフィサー 鈴木祐司さん
- ホープ常磐プロジェクトにおけるファンドレイズ
認定NPO法人茨城NPOセンター・コモンズ事務局長 横田能洋さん

分科会

分科会2 願いの施設オープンまでのファンドレイジングー擬似私募債ー

- 福祉作業所移転に伴う費用の一部を擬似私募債で調達 NPO 法人コミュニティワークス 理事長 筒井啓介さん

●地域の母親の力で夢の園舎建設 NPO 法人まえはら子育てネットワーク理事長 小手川京子さん

船橋市前原西で無認可幼稚園「まえはら幼児教室」を運営。市の施設を借りて長年保育をしてきたが、建て替えに伴い新園舎建設を計画。UR都市機構から定期借地契約で土地を借りることができたものの、担保がないため金融機関からの借入れは難しく、新園舎の建設費 4800 万円の内、4000 万円の擬似私募債の発行に踏み切りました。「まえはらすくすく夢債」と名付けた擬似私募債は、5年債(1口 30 万円利息年 0.5%)と7年債(1口 50 万円利息年 0.6%)の2種類を用意。園児の父母や卒園児など 69 名が申し込み、募集からわずか1月で 4040 万円を調達。440 万円の募金も集まり、2008 年 3 月、夢の新園舎が完成しました。擬似私募債発行に踏み切った理由は、周辺の新築分譲マンション建設による子育て世代の安定が見込まれたこと、児童デイサービスへの公的資金が見込まれたことによります。念願の新園舎建設が実現できたのは、保護者や卒園児の園舎新設への強い思いと48年の歴史と実績、信頼があったからだと思います。

分科会3 ITで拓くファンドレイジング

- 会員、寄付管理をデータベース化 株式会社ファンドレックス取締役 吉田憲司さん

●インターネット こう使えば増えるあなたの団体のファン・寄付者 合同会社コーズアクション代表 菅文彦さん

初めて団体のホームページを見た人が、いきなりファンになることはない、ファン層を増やすためには関係性を高めていく工夫が必要。そのポイントは…

- ①どんな人に閲覧してほしいのか、その人たちにどんな情報を渡したいのか、どんな行動をしてほしいのか、などシナリオ作りが大切。
- ②興味を持った人を手ぶらで返さないための工夫、メールマガジンの登録・資料請求・ツイッター・フェイスブックなど閲覧者が次の行動を起こしやすくする工夫が必要。シナリオに基づいた行動をとってもらえない時には、何がネックになっているのか考えてボトルネック除去に努める。
- ③寄付を呼び掛ける・集めるためには、各ページに寄付ボタンを配置する等レイアウトに工夫が必要。寄付行動がもたらす効果を「見える化」することも効果的。
- ④最近ではタブレットやスマートホンでの閲覧もあるので、団体ホームページがそれに対応できているか、しておくことも必要。

分科会4 信託銀行の遺言信託と公益財団への寄贈

- 寄付者開拓のための信託銀行の新しい仕組み 住友信託銀行業務開発チーム主務調査役 合田政生さん

分科会5 地域で資源を循環させる

- 地域内“志金”循環～momoのこれまでの取り組み～ コミュニティ・ユース・バンク momo 理事 長谷川友紀さん
- NPOの情報開示で豊かな地域社会へ NPO 法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ事務局 志村はるみさん



分科会6 共感をカタチに変える…寄付者の思いをつなげる

- 子どもと舞台芸術と出会うの機会を広げよう「子どもアートステージファンド」 NPO 法人子ども劇場千葉県センター事務局長 大森智恵子さん

●寄付キャンペーンをやってみよう！～100万円達成の極意とは？ NPO 法人開発教育協会職員 八木亜紀子さん

今回の寄付キャンペーンは販売を目的で作成する学習教材セットの作成費として実施。寄付獲得には、まず寄付獲得は難しいという思い込みを捨てる。直接支援団体ではないから、団体の事業収入が多いから、普段から寄付が集まっていなかったからなどの思い込みを捨てる。

○3か月で100万円達成のポイント

- ・達成しやすい目標額、期間の設定=3か月で100万円、1日1万円
- ・用途を明確に伝える
- ・寄付者の名前の掲載
- ・クレジット決済の導入
- ・さまざまなツールを利用して広報し、プロセスの報告、感謝の気持ちを表す
- ・スタッフ内での情報の共有化と「達成する」と言い続ける

○その結果

寄付率は会員>非会員。方法は郵便振替→クレジット決済→現金→銀行振り込み。一人当たり平均6000円(5000円以下4%、5000円以上96%)

○想定外の効果

会員・過去に会員だった人の協力。作成教材の広報から在庫がなくなるという結果に。何より多くの人からの支援が感謝と喜び、モチベーションアップにつながった。

*擬似私募債とは、株式会社以外の法人が私募債の形式に準じて発行できる債券